

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード		22047		事業名		予防接種費用助成事業					
	事業手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()									
	施策体系	施策の大綱		02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実				予算科目目	会計	01:一般会計		
		基本施策		01:健康づくりの推進と地域医療の充実					款	04:衛生費		
		施策の方向		05:感染症対策の推進					項	01:保健衛生費		
		重点プロジェクト		01:「健都さぶり+」プロジェクト					目	02:予防費		
事業期間		H 24 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		亀山市インフルエンザ予防接種費用助成金交付要綱等						

評価分類		A1	
------	--	----	--

担当部署			
部	健康福祉部 子ども未来部		
課	健康政策課 健康づくりG 子ども総合支援課 母子保健G		

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)	
	細菌やウイルスによる感染症に対して、ワクチン接種による免疫力獲得と接種者の増加による社会的免疫の向上による感染予防策を図る必要がある。		市民(予防接種対象者)		予防接種の接種勧奨を行い、予防接種の普及を推進することで、感染症の地域での流行や重症化を予防し、市民の健康保持・増進を図るとともに、保護者等の経済的負担の軽減を図る。また、定期接種以外の予防接種に対する助成を行うことにより、更なる予防接種の促進を図る。		インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ等のワクチンについて、予防接種費用の一部を助成する。	

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発		○予防接種費用の一部助成 ○市民への周知啓発		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		予防接種の費用の一部助成について年度計画通り助成を行った。広報、ホームページ等を使用し市民への全体的な周知啓発を行うとともに、直接市民と接する機会(赤ちゃん訪問や幼児健康診査、健康教室等)を利用し、予防接種の費用助成についての周知啓発を行った。		予防接種の費用の一部助成について年度計画通り助成を行った。広報、ホームページ等を活用し、市民への全体的な周知啓発を行うとともに、直接市民と接する機会(赤ちゃん訪問や幼児健康診査、健康教室等)を利用し、予防接種の費用助成についての周知啓発を行った。令和5年度から、带状疱疹ワクチン接種に対する助成を開始した。						
	計画額	予算額	事業費		7,300千円	5,139千円	22,100千円	21,258千円	23,300千円		23,300千円
			国・県支出金			0千円		0千円			
			地方債			0千円		0千円			
			その他			0千円		0千円			
			一般財源		7,300千円	5,139千円	22,100千円	21,258千円	23,300千円		23,300千円
	決算額		事業費			4,975千円		18,891千円			
			国・県支出金			0千円		0千円			
地方債				0千円		0千円					
その他				0千円		0千円					
一般財源				4,975千円		18,891千円					
①期間内計画額(R4-7)		76,000千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額		76,000千円	

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	21,258千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指 標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	周知啓発の実施回数	広報・ホームページ・CATV等での掲載回数	成果	回	計画値 実績値	4 6	6 6	7	8
	麻しん患者発生数	市内での麻しん患者発生人数	成果	人	計画値 実績値	0 0	0 0	0	0
					計画値 実績値				

⑤ 成 果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	任意予防接種費用の一部助成を行った結果、接種に伴う経済的負担を軽減することができた。また、健康づくりのてびきや広報等により、積極的な情報発信を行ったことにより、罹患予防や罹患時の重症化予防、感染症の感染拡大防止など、予防接種への理解が得られるとともに、令和5年度から開始した带状疱疹ワクチンへの助成については、市民の関心が高く、当初の見込みを超える接種者数となるなど、予防接種の促進、市民の健康保持・増進につなげることができた。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
市民(予防接種対象者)	予防接種の接種勧奨を行い、予防接種の普及を推進することで、感染症の地域での流行や重症化を予防し、市民の健康保持・増進を図るとともに、保護者等の経済的負担の軽減を図る。 また、定期接種以外の予防接種に対する助成を行うことにより、更なる予防接種の促進を図る。

(再掲)

⑥ 課 題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	感染リスクの高い感染症や、罹患時の重症化しやすい感染症については、有効なワクチンが承認される場合があるため、医学的なエビデンスを確認しながら、新たな任意接種への費用助成の必要性について検討する必要がある。 また、子どもに関する予防接種については、保育所、幼稚園等の関連部署と連携を図るなど、積極的な情報発信を行う必要がある。	

⑦ 事 業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 継続して市民への周知啓発を行うほか、带状疱疹ワクチン、インフルエンザワクチン、おたふくかぜワクチン等の接種費用の一部助成を継続実施していく。	令和7年度以降で対応するもの 先進事例の調査を行うとともに、市医師会等と連携しながら、新たな有効性の高いワクチン等の検討を行うことで、地域内の感染防止を図れるよう調整を進める。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

【履歴】

1次評価者	健康福祉部 健康政策課 健康づくりGL 小坂 聡子 子ども未来部 子ども総合支援課 母子保健GL 小林 準子
最終評価者	健康福祉部 健康政策課長 大平 守 子ども未来部 子ども総合支援課長 豊田 昌子